新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里機関紙

シジュウカラ 第98号

令和３年６月１日発行

もくじ

２ページ　・特集　救護業務での数のおはなし
・新任職員あいさつ
３ページ　・イベント情報（７月～10 月）
・イベント報告（１月～３月）
４ページ　・傷病鳥獣の収容状況
・愛鳥センター利用案内

愛鳥センターHP

表紙の写真

今回の表紙はよく似ているキジとヤマドリのヒナのはく製です。

キジはネコに襲われた個体、ヤマドリは誤認保護された個体です。ネコに襲われた鳥は死亡率が高く、なかなか助かりません。ネコによって毎年世界中で大量に鳥が死んでいるという報告もあります。ネコを飼っている方は外に出さず、室内での飼育をお願いします。

誤認保護はヒナが巣立つ時期に多い事例です。巣立ったばかりのヒナや、キジ類のように生まれてすぐ歩けるヒナは、落ちているように見えることがあります。しかし、ヒナを拾ってしまうと、親鳥と離すことになり、助けたいと思ったはずが、ヒナの生存の可能性を奪うことになりかねません。

ヒナを見つけても、遠くからそっと見守ってください。

【特集】 救護業務での「数」のおはなし

【ハクチョウ放鳥の瞬間】

令和２年度愛鳥センターに収容された鳥類は収容数４２６羽で、放鳥数１４７羽でした。放鳥率でいうと 40.44%となります。この放鳥率を皆さんはどう感じますか？　「せっかく保護してもそれしか助からないの？」と思われるかもしれません。ちなみに他の自治体などの同様の施設や民間委託されている施設の多くは放鳥率が 30%ほどです。

収容・放鳥などの「数」は、一つの側面でしかないということを話してみようと思います。これらが、新潟の自然環境の中で起こることのすべてでは当然ありません。様々な要因によって「種」も「収容数」も変動します。「収容数」の中には、センターへ収容されるまでに死亡してしまう個体、あまりにも状態が悪く回復の見込みのない個体、逆に本来センターまで運ぶ必要が無かったり、そもそも収容する必要が無かった個体も含まれます。さらに、保護収容されるには「発見」される必要があり、生息域やその時々の状況や関わった人間の知識・判断によって変動します。また収容される「種」もその時々で大きく変動します。

いつも見ていただいている「数」に、このような要因があると知っていただくことも自然環境保全・生物多様性を正しく考察する上で、重要な視点になるはずです。これという正解がないからこそ、ぜひ様々な状況を想像し、持続可能な環境のためにどのように自然環境に関われば良いか考えてみてください。

新任職員あいさつ

専門員　本間　松栄

この４月に「愛鳥センター紫雲寺さえずりの里」に赴任しました本間松栄と申します。これまで、主に公共事業関係や福祉関係の職務を担当してきましたが、鳥獣愛護等に関する業務は初めてです。着任からひと月が経ちました。晴れた日の昼休みには散歩したりするのですが、以前はイヤホンで好きな音楽を聴きながらの散歩でしたが(交通事故に気をつけながら)、現在は愛鳥センター周辺で鳴き交わす野鳥たちの声を聞きながら散歩しています。これまで、鳥の鳴き声を意識していなかったためかもしれませんが、ここでは多くの野鳥のさえずりを聞くことができて癒やされています。鳥は恥ずかしながら、カラス、ツバメ、スズメ、ハト程度しか分からないのが現状ですが、これから野鳥についての知識等を少しずつでも身に付けていきたいと思います。野生鳥獣保護思想の普及啓発のため、探鳥会や講演会等のイベントの計画・開催を担当しますが、頑張りますのでよろしくお願いします。

【最も多く発生していたミズキ】

会計年度任用職員　　武田　宏

３月に新潟県森林研究所を定年退職し、４月から愛鳥センター紫雲寺さえずりの里に勤務しています武田宏と申します。　森林研究所では、主に防災林や木質バイオマスの試験研究を担当していました。鳥に関する研究を行ったことはありませんが、治山工事施工地にケヤマハンノキを植栽したところ、林床に多くの広葉樹が発生しました。その４分の３が鳥散布であり、改めて森林の遷移に鳥が大きく関係していることに気づかされました。
鳥は身近な種が分かる程度なので、傷病鳥獣に関わりながら知識を深め、広報に取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願いします。

7月～10月イベント案内

イベントには事前に申し込みが必要です(7月１日より申込み受付開始)。
新型コロナウイルス感染症の影響により内容が変更・中止になる可能性がありますので、HP 等で最新の情報を確認してください。

探鳥会・観察会

・シギ・チドリ観察会

日時：8 月 29 日(日)　7:00～9:00
場所：網代浜(聖籠町)　定員：20 名
集合：聖籠町海のにぎわい館駐車場

・昆虫観察ナイトウォッチング

日時：9 月 4 日(土)　18:00～20:00
場所・集合：愛鳥センター　定員：20 名

・清潟探鳥会

日時：10 月 24 日(日)　9:00～11:00
場所：清潟公園(新発田市)　定員：20 名
集合：清潟公園駐車場

夏休みイベント

・巣箱作り教室

日時：7 月 22 日(木・祝)、23 日(金・祝)
各回とも 13:30～16:00
定員：各回 8 組
対象：小学生以上（小学生は保護者同伴）
場所：愛鳥センター2 階レクチャールーム

・工作教室（消しゴムはんこ）

日時：8 月 8 日(日)　13:00～14:30
定員：20 名　対象：小学校高学年以上
場所：愛鳥センター 2 階レクチャールーム
持ち物：カッター、彫刻刀（あれば）

講座　「めざせ鳥調査員　！鳥の鳴き声勉強会２」

日時：10 月 16 日(土)　9:00～11:00
場所：愛鳥センター2 階レクチャールーム・探鳥路
定員：10 名　対象：小学校高学年以上
鳥の野外調査に興味があり、自分でやってみたい方、鳴き声を勉強したい方向けの講座です。すでに調査をしている方と初心者の方は対象外です。
持ち物：双眼鏡、筆記用具、バインダー(あれば)

５月に開催した工作教室の参加者の作品

1月～3月イベント報告

イベント報告の詳細については、愛鳥センターHP またはフェイスブックでご覧ください。

足跡ウォッチング

1 月 24 日（日）9:00～10:30
講　師：　高橋泉氏
(新潟県自然観察指導員の会)
場所：愛鳥センター周辺
積雪が多い中、ノウサギ、タヌキ、キジなどの足跡を観察しました。

ハクチョウを見送る会

3 月 7 日（日）9:00～10:50
講　師：佐藤和明氏(村上野鳥の会)
場所：お幕場大池公園(村上市)
観察種：31 種
水面ではマガモ、オナガガモ、ホシハジロなどのカモ類、林ではマヒワの群れなどを観察しました。

※2 月 14 日(日)に開催を予定しておりました新潟県野鳥保護の集い(瓢湖)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止になりました。

傷病鳥獣の収容状況

令和2年度　12月～3月の傷病鳥獣収容結果

収容NO.	種類	11月末収容数	収容数	放鳥獣	譲渡返還	死亡	3月末収容数
（鳥類）							
	ヤマドリ	1				1	0
1	キジ		1	1			0
2	コハクチョウ	7	10	8		3	6
3	オオハクチョウ		3	2			1
4	マガモ	2	3	2		3	0
5	カルガモ		1	1			0
6	コガモ		1			1	0
7	カンムリカイツブリ		6	3		3	0
8	ハジロカイツブリ		1	1			0
9	キジバト	4	5	3		5	1
	アオバト	3					3
	オオミズナギドリ	1				1	0
10	アオサギ		1			1	0
11	ダイサギ		1			1	0
12	コサギ		1			1	0
13	オオバン		3	1		2	0
	ムナグロ	1					1
14	タシギ		1			1	0
15	ウミネコ	2	1			1	2
	ミサゴ	1				1	0
16	トビ	10	4	3		2	9
	サシバ	2					2
	ノスリ	5					5
	クマタカ	1					1

収容NO.	種類	11月末収容数	収容数	放鳥獣	譲渡返還	死亡	3月末収容数
17	オオコノハズク		4			2	2
	アカショウビン	1				1	0
18	チョウゲンボウ	3	2	1		1	3
	ハヤブサ	1					1
19	オナガ		1			1	0
	ハシボソガラス	2					2
	ツバメ	1				1	0
20	ヒヨドリ		2	2			0
21	メジロ		1	1			0
	マミジロ	1					1
22	ツグミ		5			5	0
23	イソヒヨドリ		1			1	0
24	スズメ		2	2			0
25	ハクセキレイ		1	1			0
26	カワラヒワ		1	1			0
27	シメ		2	1		1	0
28	ホオジロ		1			1	0
29	ドバト		3	2		1	0
30	アイガモ		1			1	0
31	不明		1			1	0
小計		49	71	36	0	44	40
（獣類）							
1	ムササビ		1	1			0
小計		0	1	1	0	0	0
合計		49	72	37	0	44	40

令和2年12月1日～令和3年3月31日までの収容数は、鳥類31種71羽、獣類1種1頭で、昨年度の同時期（鳥類39羽、獣類5頭）と比べ鳥類は増加し、獣類は減少した。

来館者

月	12月	1月	2月	3月	計	累計
来館者数	176	75	196	495	942	635，402
相談件数	24	43	34	42	143	—

※相談件数：野鳥に関する電話等の件数（ケガをした野鳥に関する情報提供やヒナの相談など）

館内設置のトキ募金箱の報告
令和2年12月～令和3年3月　1，396円
累計　302，377円
皆様の温かい善意に深く感謝いたします。
今後とも御協力をお願いします。

新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里
開館時間：午前9時～午後4時
休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）
〒957-0231 新発田市藤塚浜海老池
Tel 0254-41-4500／Fax 0254-41-4501
HP：http://www.pref.niigata.lg.jp/aicho/
E-mail：ngt035310@pref.niigata.lg.jp